

■発行 京都府向日市役所 (向日市寺戸町中野20)
■編集 広報広聴課
■電話 075(931)1111

向日市

おもな記事

- お元気ですか
老人福祉週間
(一ページ)
- 下水道事業を推
進(二ページ)
- 混雑しています
市民課の窓口
事務(二ページ)
- 在宅重度障害者
手当が新設
(二ページ)
- 道路美化をPR
(三ページ)
- ガン検診報告
(三ページ)
- くらしのひろば
(四ページ)

お元気ですか

老人福祉週間9月15日～21日

老後に健康といきがい

九月十五日から二十一日までは老人福祉週間——最近の物価の動向、経済情勢は、国民生活、とりわけ老人層へ大きな影響を与えています。こうしたときに今までの高齢者対策をいっそう拡充し、老人福祉法の精神を具体化した総合対策を樹立することは急務であり、今こそわたしたち一人一人が真剣に考え対応していく必要があります。

市における老人の人口動態は、六十五歳以上が二千三百六十五名で、市人口の約五・三パーセント(昭和五十年七月一日現在)を占め、ますます元気に余暇を楽しんでおられます。近年の急速な医学の進歩や豊富な栄養を自由に摂取することによって、日本人の平均寿命は毎年その伸びを示しています。

最近の社会は、都市化の進む中で、ますます複雑の度を加え、世代間の意識の変革や価値観の相違により人間性が失われつつあります。老人問題は重要な緊急課題の様相を呈してきています。

ひとりひとりが等しく幸せになり、明るく楽しい生活を営むためには、地域住民がみずから手で行うべきで、地域の福祉の向上に努めなければならないといえます。



市長 秋市 明

本市におきましても、市民の福祉を高めるために常に意を用い、その実現に努力いたしております。とりわけ社会的に恵まれない老人や身体障害者などの方々に対しては、行政の暖い施策が必要であることを痛感いたしております。しかしながら今日の地方財政をとりまく諸情勢は総需要抑制による不況とインフレの影響を受け、誠意にきびしいものがあ

社会福祉の充実

人間何といつても健康第一、とくに老年者には、生活環境が大きな影響を与え、家庭での生活条件が最も大切です。また、お年寄りがみんなから大切にされ、お年寄りご自身もその能力に応じて家庭や社会に役立つような仕事をし、生きがいを感じることが長寿の秘訣とも言われています。

従来、老人福祉対策といえ、老人ホームの建設にばかりおかれていた主眼も、ねたお年寄りをいかにして援護している現在、在宅福祉といふ領域が老人福祉をどう考えるかという重要な問題でかけられています。

下水道事業を推進

今年度は九十メートル延長

九月十日は全国下水道促進デーです。わたしたち国民の快適な生活環境を築くため、今や全国の都市では、下水道の促進に力を入れています。しかし、下水道施設は上水道、道路等の公共施設に

比すると非常に遅れています。それは、国民生活に対する考え方の認識不足やし尿処理を農産資源として農村に依存してきたことなどから考えられますが、最も大きな原因は建設に巨額の費用を必要とするためです。長工事する予定です。

市では昨年十月、下水道事業の認可を受け、森本町小柳地区に工事費千三百万円をかけ、六十三・五メートルの汚水幹線工事を行いました。今年度もこれに引き続き、約九十メートルの延長工事を行います。

快適な生活環境

市民の理解と協力を

下水道が完備すると、各家庭では汚水の排水管を通して、家庭排水はもろろんのこと、トイレもくみ取り式から水洗式となり、また道路側溝などの汚水もなくなり、衛生的かつ快適な生活環境となります。

下水管のふ設も順調に



台風シーズンにそなえて

台風のもっているエネルギーの大きさは、わたしたちの想像を絶するほどに大きなものです。このはかり知れない台風災害も、工夫と努力である程度防衛することができます。

◆家屋の補強は早目にノ

- ・煙突、看板、ヘイなどは頭丈なところにしぼりつけ補強する。
- ・窓や雨戸などはクギづけにして、板をあてて補強する。

◆台風が近づいたら

- ・テレビ、ラジオで新しい台風情報をよく聞き、必要な対策をたてましょう。
- ・停電に備え、懐中電灯、トランジスタラジオなどを用意しましょう。

◆避難するときは

- ・電気、ガスなどの元栓は必ず切りましょう。
- ・荷物はできるだけ整理し、手荷物程度に。

